

2026年10月入学
岡山大学大学院社会文化科学研究科(博士後期課程)
学生募集要項

- ・ 外国人留学生 SDGs 海外特別入試【第1次】 【第2次】
- ・ 0-NECUS プログラム修了者外国人留学生特別入試

入試種類	外国人留学生 SDGs 海外特別入試【第1次】	外国人留学生 SDGs 海外特別入試【第2次】	0-NECUS プログラム修了者外国人留学生特別入試
主な対象者 (正確な出願資格は募集要項の各ページを参照)	海外に居住する, 岡山大学の大学間交流協定校又は本研究科, 文学部, 法学部, 経済学部の部局間交流協定校を卒業した者又は2026年9月までに卒業見込みの者	【第1次】の対象者以外の海外に居住する者	0-NECUS プログラムの双方向学位制度及び短期留学制度の修了者
出願期間	2026年4月22日(水) ~5月7日(木)	2026年6月8日(月) ~6月11日(木)	2026年4月22日(水) ~5月7日(木)
試験内容	書類審査	書類審査及び口述試験 (オンライン面接)	書類審査
合格者発表	2026年6月5日(金) 13時	2026年7月9日(木) 13時	2026年6月5日(金) 13時

※必ず募集要項の各ページを参照して詳細を確認してください。
出願資格によっては出願前に出願資格審査が必要な場合もあります。

岡山大学大学院社会文化科学研究科

連絡先 岡山大学大学院社会文化科学研究科教務学生担当
所在地 〒700-8530 岡山市北区津島中 3-1-1
TEL : 086-251-7357, 7362 (国内から)
81-86-251-7357 (海外から)
E-mail : socialoffice@adm.okayama-u.ac.jp

目 次

I. 岡山大学大学院社会文化科学研究科のアドミッションポリシー	1 ページ
II. 岡山大学大学院社会文化科学研究科博士後期課程の概要	2 ページ
III. 外国人留学生 SDGs 海外特別入試【第1次】【第2次】学生募集要項	
1. 募集人員	5 ページ
2. 試験日程等の概要	5 ページ
3. 出願資格	5 ページ
4. 出願資格審査	6 ページ
5. 出願手続	7 ページ
6. 受験番号の通知	9 ページ
7. 入学試験の方法及び入学者選抜方法	9 ページ
8. 合格者発表	9 ページ
9. 入学手続	9 ページ
10. その他	9 ページ
IV. 0-NECUS プログラム修了者外国人留学生特別入試学生募集要項	
1. 募集人員	14 ページ
2. 出願資格	14 ページ
3. 出願手続	14 ページ
4. 受験番号の通知	16 ページ
5. 入学試験の方法及び入学者選抜方法	16 ページ
6. 合格者発表	16 ページ
7. 入学手続	16 ページ
8. その他	16 ページ

I. 岡山大学大学院社会文化科学研究科のアドミッションポリシー

社会文化科学研究科博士後期課程は、以下に掲げた力を身に付けた人材を求めます。

求める人材像

岡山大学のアドミッション・ポリシーのもと、社会文化科学研究科では、文学・法学・経済学の各分野において高度な知識・能力と技術・判断力を身につけた高度実践人や高度な専門的分析能力を持つ研究者を目指す入学者を求めています。入学者の多様性を重視し、日本人、外国人留学生、職業人・社会人など様々な方を求めます。

社会文化科学研究科博士後期課程では、博士後期課程入学前に、周囲の様々なステークホルダーと協働して課題解決に導く実践力、論理的で複眼的な探究力、幅広い学びから自らの知を深められる教養力に加えて、人文・社会科学の様々な専門分野における基礎的知識を深く統合できる専門力を、大学及び博士前期課程において培ってきた人材を、学内外から広く求めます。専門分野に関する学力と柔軟な思考力、豊かな知性と感性を備え未知に挑戦する強い目的意識と探究心を持って、学術研究に意欲的に取り組む気概のある人を求めます。

博士後期課程では、博士前期課程で培われた専門領域に関わる知識や経験を踏まえて、さらに高度な学究的かつ総合的な観点から学生の教育・研究指導を行い、伝統的な人文・社会科学の学問領域（文学、法学、政治学、経済学、経営学）における個別研究にも十分に対応できる教育・研究システムの整備に努めています。

求める力

入学者に対しては、より大きな課題と向き合い解決のために先駆けて行動できる実践力、社会的な課題に様々な観点から専門力を用いて本質に迫る探究力、他者と垣根を越えて相互に高め合うコミュニケーション力、自らの成長のためにより広く深く学ぶ教養力に加えて、学位プログラムの特性に応じて以下に掲げるように、人文・社会科学のそれぞれの学問領域の土台となる専門知識と技能を深く統合することができる専門力を、入学後に身につけることを求めます。

学位プログラムが求める専門力は以下の通りです。

【社会文化学学位プログラム】

研究者や高度専門人として、伝統的な人文・社会科学の学問領域の個別研究に十分対応できる高度な専門知識を習得し、各分野の諸問題を発見して解決できる専門力

社会文化科学研究科博士後期課程の選抜方針・選抜方法の具体的な考え方と、能力との関係

博士後期課程では、多様な学生を評価するために、一般の入学者選抜と進学者選抜を行います。

①一般の入学者選抜では、筆記試験（志望する研究分野に関連した専門科目と志望する研究分野に係る各国文献読解）と口述試験（学位論文等及び研究計画書を中心に行う）の結果及び書類審査を総合して、人文・社会科学の多様な分野に関する高度な専門能力を判定します。

②進学者選抜では、岡山大学大学院博士前期課程又は修士課程を修了見込みの者を対象にして、口述試験（学位論文等及び研究計画書を中心に行う）の結果及び書類審査を総合して、人文・社会科学の多様な分野に関する高度な専門能力を判定します。

入学前に学習しておくことが期待される内容

それぞれの所属する専攻・講座に応じて、人文・社会科学の様々な専門分野の高度な専門的知識を学習するために必要な博士前期課程修了相当の基礎学力を身につけておいてください。

本募集要項に記載の入試では、①②の一般の入学者選抜及び進学者選抜は実施しません。

Ⅱ. 岡山大学大学院社会文化科学研究科博士後期課程の概要

本研究科博士後期課程は、「社会文化学専攻」の1専攻からなり、「文化共生学講座」、「人間社会科学講座」、「政策科学講座」、「国際教育科学講座」の4講座で構成されています。そして、4講座のもとに、8教育・研究分野（人間文化論、社会文化論、日本文化論、比較社会発展論、公共政策論、現代企業論、ESD・ESDGs 論、GCED 論）を置いています。また、社会文化学学位プログラムがあります。

1 講座・教育研究分野の概要

(1) 文化共生学講座

本講座は、人間と人間の共生に関して、諸文化の歴史と独自性を前提とした未来形成的な集合的営みという観点から教育・研究することを目的とします。

世界の諸文化における共生の思想・歴史・現状を考究することにより、進展する国際化と情報化の中で不可避免的に生じる文化や価値観・世界観の対立・衝突を回避し、文化の多様性の保持と秩序化、並びに文化の多様性の活性化と制御を図り、諸領域における異文化間の創造的な共生の構築に貢献できる高度専門的職業人と研究者を育成することを目指します。

① 人間文化論

本教育・研究分野は、人類の長い歴史における非共生的あるいは反共生的な事態に対する反省・批判として試みられてきた共生を模索する数多くの思想や努力・実践を古代からの哲学・思想や文学・芸術の中に探究するとともに、異文化の接触過程において生じる人間相互の誤解・摩擦・対立等の根本構造を最大の対立要因たる価値観・世界観の視点から研究し、文化共生のモデルの探究を行います。

② 社会文化論

本教育・研究分野は、多文化間の共生と異文化間の理解に関わる諸問題に対して、社会・文化の共生・交流の観点から学問的に高いレベルにおける考察の展開を試み、こうした現代社会の問題に創造的・開拓的に関わりうる人材を育成します。

具体的には、心理・言語・宗教・経済の観点を主としながらも、集団間の関係性の探究やエスニシティ、ジェンダーといった新たな切り口も積極的に取り入れ、最先端の分析と考察を行います。

(2) 人間社会科学講座

本講座は、人間と人間の共生に関して多様な文化・社会を背景とした諸個人によるグローバルな、あるいはローカルな秩序形成という観点から教育・研究することを目的とします。

日本・アジア・欧米の文学・言語・芸術・思想・宗教・政治・経済等の諸分野における歴史と現状を深くかつ広く考究することにより、確固とした方法論の裏付けをもって世界市民として異文化理解と文化交流の実践、並びに人間共生の問題解決に寄与できる高度専門的職業人と研究者を育成することを目指します。

① 日本文化論

本教育・研究分野は、日本文化の創生・生成の仕組みを先史時代からの異文化や他者との共生や融合という視点で捕え直して、日本における文化創生の動的・歴史的なメカニズムを探るとともに、日本固有の人間共生と文化共生の特色を考察して、他者・異文化との共生の新しいあり方を提起し、文化の生成・接触・交流・創造的共生のプロセスに関する普遍化可能な理論の構築を図ります。

② 比較社会発展論

本教育・研究分野は、欧米における文化の複合性を意識・思想・制度の面から通時的・共時的あるいは対比的に検証し、アジアにおいては19世紀以降、急速に進んだ世界の一体化の中で近代にいかに向き合ってきたのか、その過程で旧来の伝統社会や文化はどのように変容してきたのか

を学際的に考察し、更にまた欧米やアジアの各種の社会制度・社会文化の比較等を人間共生・文化共生の視点から行います。

(3) 政策科学講座

本講座は、産業・社会と人間との共生を目指し、産業・地域社会の発展を可能にするための理論と政策を社会科学的不いしは社会学的観点から追求することを教育・研究目的とします。国際的な地域間の経済的統合と連携を視野に入れ、経済・経営分野、地理学分野及び法学・政治学分野の研究者が相互に協力しながらこの目的の実現を図ります。具体的には、産業や企業・公的組織において政策立案能力を有し、指導的立場となる高度専門的職業人の育成を目指します。また国内外でこれらの分野の専門的な研究を担っていく研究者を育成します。

① 公共政策論

本教育・研究分野では、地域社会発展のための公共政策、すなわち、地域としての発展と自立性を重視した教育・社会福祉・経済・行政等の各システムや政策を考察の対象とします。このために地域共生社会を創出するための総合的諸施策の探究が、法学・政治学・経済学・経営学・地理学の分析枠組みを踏まえて総合的観点から行われます。

② 現代企業論

本教育・研究分野では、企業経営、企業行動及び企業会計、企業法制といった諸領域に密接な関わりを持ち、社会に対して強い影響力を持つ企業組織の活動について、多角的に分析できる能力を培います。具体的には、組織が目標を達成する上で求められる経営上の管理や戦略のあり方、企業活動を財務的、統計的手法によって測定する方法を教育するとともに、企業取引に伴う企業取引法、企業紛争処理法などの法制的考察を行います。

(4) 国際教育科学講座

国際教育科学講座では、学校や学校外で生じている社会の様々な現象を「教育」の視点で捉え直し、学問領域を越えた横断的なアプローチを用いて実証的・体系的に追究していく。そして、持続可能な社会の実現を目指して、考え方や価値観の対立から生じている身近な地域社会の課題や地球規模の国際的課題を解決し、多文化共生を実現し、国連 SDGs（持続可能な開発目標）を達成し得る社会のモデルを、教育科学の立場から提案する。学習者が現実の社会を批判的に分析し、創造的に革新的な解決策を構想できるような教育の内容や方法のモデルを探究する。

① ESD・ESDGs 論

本教育研究分野では、ESD（持続可能な開発のための教育）や、ESDGs（持続可能な開発目標のための教育）について、その目標、内容、方法を追究し、学校教育はもちろんのこと、地域社会や国際社会、さらには企業経営などにおける ESD や ESGs の普及・発展に寄与することを目指す。人類だけではなく、あらゆる生命の存続を脅かす環境、開発、貧困、人権、平和に関わる問題を解決し、人や社会の多様性に対応し得る教育を一層推進し、将来にわたって持続可能な社会を構築することを目指して、新たな行動や仕組み、その基盤となる価値を創造することができる社会の担い手を育成する教育のあり方を探究する。

② GCED 論

本教育研究分野では、GCED（グローバル・シティズンシップ教育）について、その目標、内容、方法を追究し、学校教育はもちろんのこと、地域社会や国際社会における GCED の普及・発展に寄与することを目指す。自国または自文化中心的な見方や考え方を克服し、より平和的で安全で持続可能な世界を構築するために必要な知識、スキル、価値、態度を身に付けた市民を育成する教育の理論的枠組みを探究する。

2 取得できる学位

博士後期課程の修了者には、「博士」の学位が授与されます。付記する専攻分野の名称は、(文化科学) (文学) (法学) (経済学) (経営学) 又は (学術) です。

- (1) (文化科学) は、文化共生・人間共生・地域共生・異文化交流・異文化理解・共生社会の構築に関する新しい複合的・学際的な視点の研究に付与します。
- (2) (文学) (法学) (経済学) (経営学) は、文学・法学・経済学・経営学(会計学を含む)の各学問分野で行われる伝統的な研究に付与します。
- (3) (学術) は、文学・法学・経済学・経営学(会計学を含む)・教育学の各学問分野で行われる伝統的な研究や共生・異文化交流に関わる研究の枠に収まらない新しい複合的・学際的な視点の研究に付与します。

III. 外国人留学生 SDGs 海外特別入試【第1次】 【第2次】 学生募集要項

外国人留学生 SDGs 海外特別入試の特徴等

大学院社会文化科学研究科（博士後期課程）では、本学が推進している SDGs 達成に向け、特別入試を実施しています。

本入試では、外国人入学志願者が入学試験のために来学することなく受験することができ、SDGs 達成に貢献できる人材育成を目指しています。

1. 募集人員（第1次募集・第2次募集共通）

研究科	専攻	募集人員
社会文化科学研究科 （博士後期課程）	社会文化学専攻	若干人

2. 試験日程等の概要

今回の募集に関する試験日程等は、次の表のとおりです。

	第1次募集	第2次募集
出願期間	2026年4月22日（水） ～5月7日（木）	2026年6月8日（月） ～6月11日（木）
試験日	書類のみで審査を行う	2026年6月26日（金）， 6月29日（月） のうち、本研究科の指定する日時
合格者発表	2026年6月5日（金）	2026年7月9日（木）

3. 出願資格

次の各号のいずれにも該当する者

第1次募集・第2次募集共通
<p>1 次のいずれかに該当する者又は2026年9月までに該当する見込みの者</p> <p>① 修士の学位又は専門職学位を有する者</p> <p>② 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者</p> <p>③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者</p> <p>④ 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者</p> <p>⑤ 本研究科において、個別の入学審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同 等以上の学力があると認められた者で、24歳に達した者</p> <p>2 日本国籍を有しない者で、日本国外に居住し、入学試験を受験するために渡日することが できない者</p> <p>3 大学院入学後に、「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」の在留資格を取得でき る見込みの者</p>

第1次募集のみ	第2次募集のみ
4 岡山大学の大学間交流協定校又は本研究科、文学部、法学部、経済学部の部局間交流協定校を卒業した者及び2026年9月までに卒業見込みの者	4 国内外の公的機関等による奨学制度・研修制度などの選考に合格した者又は指導予定教員の受入内諾がある者
5 日本語能力試験（JLPT）1級又はN1を取得している者	5 在籍大学（出身大学）等から人物・学力ともに特に優秀である旨推薦された者
	6 日本語による日常会話能力を有し、かつ、入学時点で日本語能力試験（JLPT）のレベルN2相当以上の語学能力を有している者又は英語におけるヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）のB2相当以上の語学能力を有している者

（注1）出願資格1－⑤により出願する方は、出願に先立ち出願資格審査を行います。

（注2）学位授与見込みで出願した者で、2026年9月までに学位が授与されない者は入学を取り消します。

（注3）指導予定教員の受入内諾に際しては、インターネット等による面談がある場合があります。

4. 出願資格審査

（1）出願資格審査方法

出願資格1－⑤により出願する方は、出願に先立ち出願資格審査を行います。

該当の入学志願者は、下記（3）の申請書類を、受付期間内に必着するよう「国際スピード郵便」にて下記（2）の申請書類提出先まで郵送してください。

（2）申請書類受付期間・提出先

第1次募集	第2次募集
2026年3月23日（月）まで（必着）	2026年5月22日（金）まで（必着）

封筒の表に「大学院社会文化科学研究科博士後期課程外国人留学生 SDGs 海外特別入試出願資格審査書類在中」と朱書きし、「国際スピード郵便」で郵送してください。

提出先：〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1

岡山大学大学院社会文化科学研究科教務学生担当

（3）申請書類

- ①入学試験出願資格認定審査願（所定様式）
- ②履歴書（所定様式）
- ③研究業績表（所定様式）及び研究経過報告書（様式任意）（2,000字程度）
- ④最終学校の修了（見込）証明書
- ⑤最終学校の成績証明書

※ 出願書類はすべて原本に限ります。（④、⑤の書類は、受付時に複写し、返却します。）

（注）上記書類のうち、英語以外の外国語で書かれたものには、全てその日本語訳を添付してください。

（4）申請書類の請求方法

岡山大学大学院社会文化科学研究科ホームページ（下記URL参照）から、出願資格審査申

請書類を取得してください。

URL https://shabun.ccsv.okayama-u.ac.jp/admission/kaigainyushi_d_shinnsa_youshiki

(5) 認定方法

書類審査により行います。

(6) 審査結果について

第1次募集	第2次募集
2026年4月10日(金)頃	2026年6月5日(金)頃

審査結果については本人あてに「国際スピード郵便」で通知します。なお、いかなる理由があっても提出書類(申請書類④及び⑤は除く)は返却しません。

出願資格が認められた方は、4. 出願手続に従い出願手続を行ってください。事前審査で提出済みの証明書等は、出願手続時に再度提出する必要はありません。

5. 出願手続

(1) 出願方法

入学志願者は、下記(5)の出願書類等を、出願期間内に必着するよう「国際スピード郵便」にて下記(3)の出願書類提出先まで郵送してください。

(2) 出願期間

第1次募集	第2次募集
2026年4月22日(水) ～2026年5月7日(木)まで(必着)	2026年6月8日(月) ～2026年6月11日(木)まで(必着)

(3) 出願書類提出先

〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1
岡山大学大学院社会文化科学研究科教務学生担当

(4) 出願上の注意

- ①出願後の出願書類等の記載内容についての変更は認められません。
- ②出願書類受理後は、いかなる理由があっても返却しません。
- ③出願書類に不備があるもの及び入学検定料に不足のあるものは受理しません。
- ④出願書類等の記載内容に虚偽の記載があった場合は、入学後においても入学が取り消されることがありますので注意してください。

(5) 出願書類等

第1次募集・第2次募集共通
①入学願書・履歴書(所定様式) ②出身大学の成績証明書 ③出身大学院の成績証明書 ④出身大学院の修了(見込)証明書 ⑤学位(修士)論文の要旨(2,000字程度)(所定様式) ⑥研究計画書(2,000字程度)(所定様式) ⑦在籍大学院(出身大学院)等からの推薦書(所定様式) ⑧写真(最近3ヶ月以内に撮影したもの、縦4cm×横1cm、上半身、正面、脱帽、裏面に氏名を記入し、入学願書の所定の箇所に貼付してください)

<p>⑨入学検定料支払証明書（所定用紙に貼付） 入学検定料30,000円を「10. その他（4）入学検定料支払の流れ」によりお支払いください。入学検定料の支払確認後に、「入学検定料支払証明書」を印刷し、所定用紙の所定欄へ貼付してください。 <u>※1次募集の入学検定料支払い手続きは2026年4月1日から、2次募集は2026年5月9日から可能です。</u></p>	
第1次募集のみ提出	第2次募集のみ提出
<p>⑩学位論文（修士論文）の写し ⑪研究業績書（所定様式） ⑫日本語能力試験1級又はN1の証明書 ※公益財団法人日本国際教育支援協会と独立行政法人国際交流基金が主催しているもの</p>	<p>⑩国内外の公的機関等による奨学制度・研修制度などの選考に合格していることが確認できるもの又は指導予定教員の受入内諾書 ⑪3. 出願資格6の語学能力が確認できる書類 ⑫本研究科が必要と認める書類（任意） ・学位（修士）論文又はそれに代わる研究論文 ・研究業績等</p>

（注1）出願書類はすべて原本に限ります。提出いただいた証明書（⑨は除く）は、受付時に複写し、返却します。

（注2）いかなる理由があっても支払済の入学検定料は返還しません。ただし、次の①～③の場合については、その限りではありません。

- ①入学検定料を支払ったが、出願書類等を提出しなかった場合
- ②入学検定料を支払ったが、出願が受理されなかった場合
- ③入学検定料を誤って二重に支払った場合

※国費外国人留学生の入学志願者は原則として入学検定料の納入は不要ですが、2026年9月30日限りで奨学金支給期間が終了する場合は、入学検定料の納入が必要です。なお、奨学金支給期間の延長が認められた場合には、入学検定料を返還します。

（注3）上記書類のうち、英語以外の外国語で書かれたものには、全てその日本語訳を添付してください。ただし、学位論文（修士論文）については、日本語訳は不要です。

（6）入学願書志望教員欄について

この欄は事前に志望教員の人数把握を行い、指導体制を整えるために記入してもらうものです。教員の研究内容、連絡先を岡山大学大学院社会文化科学研究科ホームページ（<https://shabun.ccsv.okayama-u.ac.jp/faculty-directory/>）の教員連絡先 Faculty Directory (PDF file) 又は岡山大学ホームページ（<https://www.okayama-u.ac.jp/tp/research/index.html>）の研究者・研究情報等で参照し、志望教員に事前連絡の上、必ず記入してください。

（7）出願書類の請求方法

岡山大学大学院社会文化科学研究科ホームページ（下記 URL 参照）から、出願書類を取得してください。

URL https://shabun.ccsv.okayama-u.ac.jp/admission/kaigainyushi_d_youshiki

（8）個人情報の取扱い

提出された出願書類等及び記載されている個人情報は、入学者選抜に係る業務に使用しま

す。

ただし、入学者については志願票に記載された氏名、性別、生年月日、現住所、出身学校等の個人情報を本学学務システムの学校基本情報への登録データとしても利用します。

また、合格者の受験番号、氏名（漢字・カナ）の個人情報については、本学授業料債権管理事務システム及び授業料免除事務システムの業務にも利用します。

なお、入学料免除の申請、入学料徴収猶予の申請、授業料免除の申請及び独立行政法人日本学生支援機構奨学金等への申請があった場合は、申請者本人の入学試験成績及び学業成績証明書を入学料徴収猶予等の業務に係る学力判定処理に利用することがあります。

6. 受験番号の通知

第1次募集	第2次募集
2026年5月13日（水）頃	2026年6月17日（水）頃

(1) 受験番号は「入学願書」に記載されているメールアドレス宛に通知します。

なお、到着しない場合には、次の連絡先に連絡してください。

岡山大学大学院社会文化科学研究科教務学生担当

E-mail : socialoffice@adm.okayama-u.ac.jp

(2) 受験番号は、合格発表及び入試情報開示請求の際に必要となりますので、大切に保管しておいてください。

7. 入学試験の方法及び入学者選抜方法

第1次募集	第2次募集
応募書類により書類審査を行い、合否を決定します。	書類審査及び口述試験（オンライン面接）により合否を判定します。 口述試験は、2026年6月26日（金）、2026年6月29日（月）のうち、本研究科が指定した日時に実施します。 （試験日程は、変更となる場合があります）

8. 合格者発表

第1次募集	第2次募集
2026年6月5日（金）13時	2026年7月9日（木）13時

岡山大学大学院社会文化科学研究科ホームページに合格者の受験番号を掲載するとともに、合格者には文書で通知します。なお、電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

9. 入学手続

(1) 入学手続方法

詳細は合格通知書とともに送付する「入学案内」により通知します。

(2) 入学手続期間

詳細は合格通知書とともに送付する「入学案内」に掲載しています。

10. その他

(1) 入学料及び授業料

入学料 282,000円 [予定額]

授業料 (年額) 535,800円 [予定額]

※入学時及び在学中に改定が行われた場合には、改定時から新たな金額が適用されます。

(2) 修学援助

修学援助の一環として、入学料免除・徴収猶予、授業料免除及び奨学金の制度があります。

(3) 問い合わせ

本学生募集に関する問い合わせは、下記あてにEメールで行ってください。

① 出願、専攻分野、志望教員等に関する問い合わせ

〒700-8530 岡山市北区津島中 3-1-1

岡山大学大学院社会文化科学研究科教務学生担当

E-mail: socialoffice@adm.okayama-u.ac.jp

② 宿舎に関する問い合わせ

岡山大学学務部国際教育推進課

E-mail: housing@cc.okayama-u.ac.jp

(4) 入学検定料支払の流れ

入学検定料支払の流れは、以下のとおりです



STEP 1 事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを
用意してください。
(スマートフォン、タブレットは非推奨)

STEP 2 入学検定料支払サイトにアクセス

日本語サイト <https://e-apply.jp/n/okayama-payment-jpn>
または、
英語サイト <https://e-apply.jp/n/okayama-payment-eng>
または、
大学
ホームページ <https://www.okayama-u.ac.jp/tp/admission/index.html>
からアクセス

STEP 3 個人情報の登録

画面の手順や注意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。

①試験方式、研究科等

②テスト送信メールの確認
テストメール送信を行い、登録アドレスにテストメール受信の確認後、メールアドレス下の【メール確認済】のチェック☑を入れてください。

③個人情報(氏名・住所等)

④申込登録完了
受付番号(12桁)は必ず控えてください。個人情報を確認する場合と、入学検定料支払証明書を出力する際に必要になります。

⑤入学検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード

⑥入学検定料支払証明書
(イメージ)

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」又は「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、**支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号**を控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストア又はペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。

「支払済内容を確認・印刷」ボタンより、受付番号(*)、生年月日、メールアドレスを入力・ログインすると、自分が登録した内容確認、Web志願書の出力ができます。

受付番号(12桁)メモ

227484221761 (*)



申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、入学検定料支払い前であれば正しい内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、個人情報登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

STEP

4

入学検定料の支払い

1 クレジットカードでの支払い

個人情報の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA, Master, JCB, AMERICAN EXPRESS, MUFGカード, DCカード, UFJカード, NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

個人情報の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

個人情報の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能



Loppi



Famiポート



クラブステーション



4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

個人情報の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。

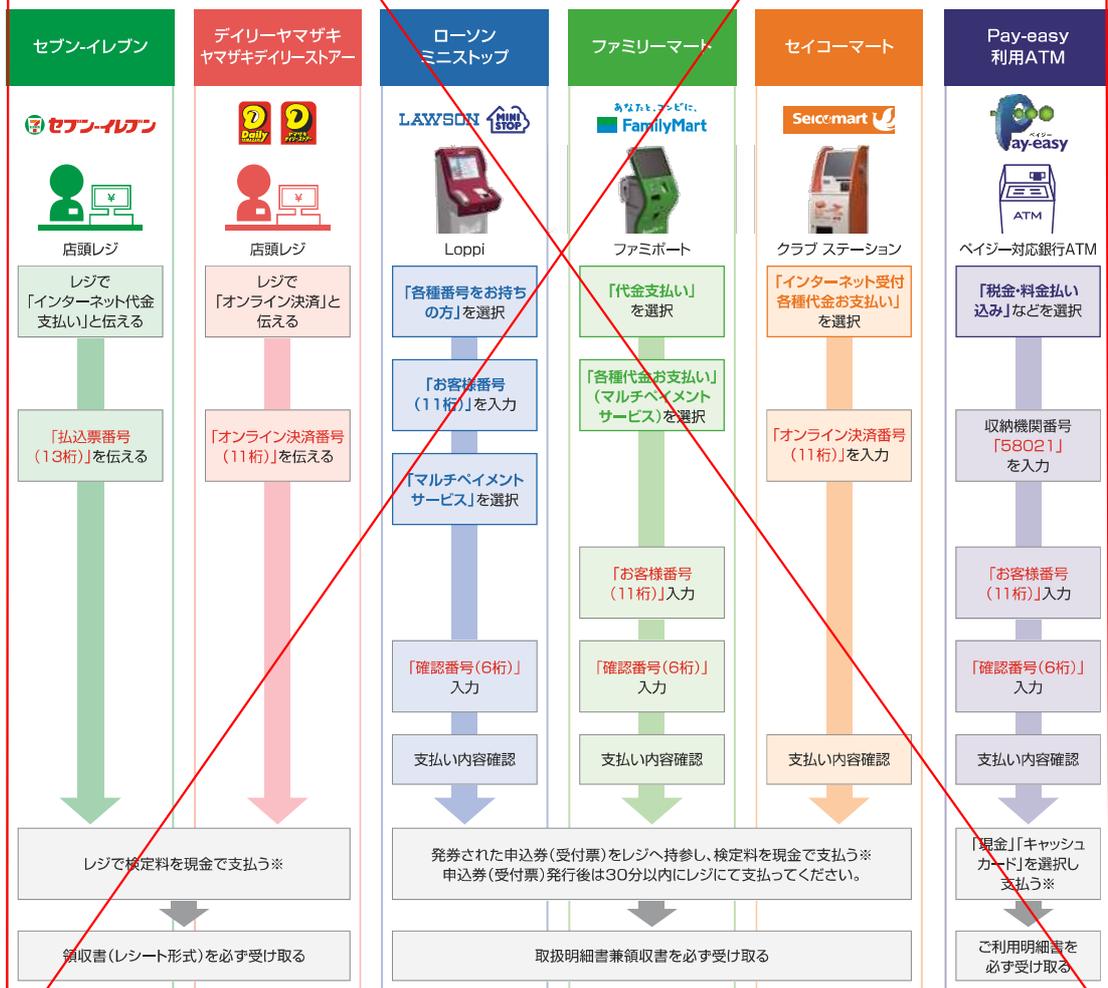


※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア

4 銀行ATM



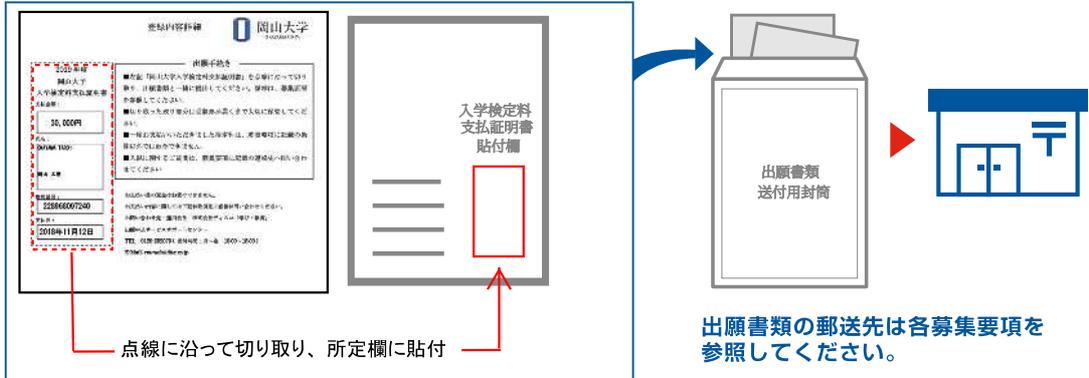
※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

STEP

5

入学検定料支払証明書の印刷

個人情報登録、入学検定料の支払後にダウンロードできる書類を印刷し、入学検定料支払証明書を点線に沿って切り取り、所定欄へ貼付してください。その他の出願に必要な書類と併せて出願期間内に郵便局窓口から「国際スピード郵便」で郵送してください。※出願締切日は各募集要項を参照してください。



〈支払完了〉

出願時の 注意点

出願は学生募集要項記載の必要書類と入学検定料支払証明書を併せて郵送して完了となります。登録しただけでは出願は完了していませんので注意してください。

支払は24時間可能です。個人情報登録、入学検定料の支払は出願締切日17時(営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なります)です。必要書類の郵送は各募集要項で定められた時間内に行ってください。ゆとりを持った出願を心がけてください。

IV. 0-NECUS プログラム修了者外国人留学生特別入試学生募集要項

0-NECUS プログラム修了者外国人留学生特別入試の趣旨

0-NECUS プログラム（岡山大学－中国東北部大学院留学生交流プログラム）修了者を対象として、岡山大学の大学院に優れた人材を受け入れて育成することにより、本学大学院学位の国際的通用性を高めることを目的とする制度（博士課程学位取得制度）に基づき、学生募集を行います。

なお、この学生募集の入学検定料、入学時の入学料及び入学後の本学在学中の授業料についてすべて無料とします。

0-NECUS プログラム（岡山大学－中国東北部大学院留学生交流プログラム）について

- 1 0-NECUS プログラムは、岡山大学の大学院と中国各大学（中華人民共和国の東北部に所在する大学）の大学院とが共同して国際水準の教育を提供し、優れた人材を育成することにより、大学院学位の国際的通用性を高めることを目的とします。
- 2 0-NECUS プログラムの双方向学位制度は、中国各大学から岡山大学に派遣される学生及び岡山大学から中国各大学に派遣する学生が、派遣元大学の大学院に在学したまま派遣先大学の大学院の正規の課程に入学し、派遣元大学と派遣先大学の双方の修士課程を修了することにより、派遣先大学と派遣元大学において、それぞれ修士の学位を取得する制度です。
- 3 0-NECUS プログラムの短期留学制度は、岡山大学と中国各大学が、大学院生を相互に短期間派遣し、派遣先大学の大学院において修得した単位を相互に認定する制度です。

1. 募集人員

研究科	専攻	募集人員
社会文化科学研究科 (博士後期課程)	社会文化学専攻	若干人

2. 出願資格

日本国籍を有しない者で、次のいずれかに該当する者又は 2026 年 9 月までに該当する見込みの者

- 1 0-NECUS プログラムの双方向学位制度（社会文化科学系コース）に基づき、岡山大学及び相手大学の修士課程を修了した者
- 2 0-NECUS プログラムの短期留学制度（社会文化科学系コース）の経験を有し、相手大学の修士課程を修了した者

(注1) 大学院入学後に、「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」の在留資格を取得できる見込みの者。

(注2) 修了見込みで出願した者で、2026 年 9 月までに修了できない者は入学を取り消します。

3. 出願手続

(1) 出願方法

入学志願者は、下記（5）の出願書類等を、出願期間内に必着するよう「国際スピード郵

便」にて下記（3）の出願書類提出先まで郵送してください。

（2）出願期間

2026年4月22日（水）～2026年5月7日（水）（必着）

（3）出願書類提出先

〒700-8530 岡山市北区津島中 3-1-1
岡山大学大学院社会文化科学研究科教務学生担当

（4）出願上の注意

- ①出願後の出願書類等の記載内容についての変更は認められません。
- ②出願書類受理後は、いかなる理由があっても返却しません。
- ③出願書類に不備があるものは受理しません。
- ④出願書類等の記載内容に虚偽の記載があった場合は、入学後においても入学が取り消されることがありますので注意してください。

（5）出願書類等

- ①入学願書・履歴書（所定様式）
- ②出身大学の成績証明書
- ③出身大学院の成績証明書
- ④出身大学院の修了（見込）証明書
- ⑤学位論文（修士論文）の写し
- ⑥学位（修士論文）の要旨（2,000字程度）（所定様式）
- ⑦研究業績書（所定様式）
- ⑧研究計画書（2,000字程度）（所定様式）
- ⑨写真（最近3ヶ月以内に撮影したもの、縦4cm×横3cm、上半身、正面、脱帽、裏面に氏名を記入し、入学願書の所定の箇所に貼付してください）
- ⑩在籍大学院（出身大学院）からの推薦書（所定様式）

（注1）上記の書類のうち英語以外の外国語で書かれたものには、全てその日本語訳を添付してください。

ただし、出願書類⑤の学位論文（修士論文）の写については、日本語訳は不要です。

（6）入学願書志望教員欄について

この欄は事前に志望教員の人数把握を行い、指導体制を整えるために記入してもらうものです。記入に際しては、岡山大学大学院社会文化科学研究科ホームページ（<https://shabun.ccsv.okayama-u.ac.jp/faculty-directory/>）の教員連絡先 Faculty Directory（PDF file）又は岡山大学ホームページ（<http://www.okayama-u.ac.jp/tp/research/index.html>）の研究者・研究情報等を参照し、志望教員に事前連絡の上、必ず記入してください。

（7）出願書類の請求方法

岡山大学大学院社会文化科学研究科ホームページ（下記 URL 参照）から、出願書類を取得してください。

URL https://shabun.ccsv.okayama-u.ac.jp/admission/kaigainyushi_o_youshiki

（8）個人情報の取扱い

提出された出願書類等及び記載されている個人情報、入学者選抜に係る業務に使用しません。

ただし、入学者については志願票に記載された氏名、性別、生年月日、現住所、出身学校等の個人情報を本学学務システムの学校基本情報への登録データとしても利用します。

また、合格者の受験番号、氏名（漢字・カナ）の個人情報については、本学授業料債権管理事務システム及び授業料免除事務システムの業務にも利用します。

なお、入学料免除の申請、入学料徴収猶予の申請、授業料免除の申請及び独立行政法人日本学生支援機構奨学金等への申請があった場合は、申請者本人の入学試験成績及び学業成績証明書を入学料徴収猶予等の業務に係る学力判定処理に利用することがあります。

4. 受験番号の通知

(1) 受験番号は、2026年5月13日（水）頃に「入学願書」に記載されているメールアドレス宛に通知します。

なお、到着しない場合には、次の連絡先に連絡してください。

岡山大学大学院社会文化科学研究科教務学生担当

E-mail: socialoffice@adm.okayama-u.ac.jp

(2) 受験番号は、合格発表及び入試情報開示請求の際に必要なとなりますので、大切に保管しておいてください。

5. 入学試験の方法及び入学者選抜方法

応募書類により書類審査を行い、合否を決定します。

6. 合格者発表

2026年6月5日（金）13時

岡山大学大学院社会文化科学研究科ホームページに合格者の受験番号を掲載するとともに、合格者には文書で通知します。なお、電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

7. 入学手続

(1) 入学手続方法

詳細は合格通知書とともに送付する「入学案内」により通知します。

(2) 入学手続期間

詳細は合格通知書とともに送付する「入学案内」に掲載しています。

8. その他

問い合わせ

本学生募集に関する問い合わせは、下記あてにEメールで行ってください。

① 出願、専攻分野、志望教員等に関する問い合わせ

〒700-8530 岡山市北区津島中 3-1-1

岡山大学大学院社会文化科学研究科教務学生担当

E-mail: socialoffice@adm.okayama-u.ac.jp

② 宿舎に関する問い合わせ

岡山大学学務部国際教育推進課

E-mail: housing@cc.okayama-u.ac.jp